

加入者の
みなさまへ

ジェネリック医薬品を使ってみませんか！

「ジェネリック医薬品」促進のご案内です。

尼崎機械金属健康保険組合では、皆さんが医療機関や調剤薬局でもらったお薬の中で、ジェネリック医薬品があるものをピックアップし、広く使われているジェネリック医薬品に切り替えた場合にどのくらい価格が安くなるのかを個人別にお知らせします。

※ ジェネリック医薬品に替えた場合、500円以上の自己負担削減額のあると見込まれる方が対象です。
この機会にぜひジェネリック医薬品の利用をご検討ください。

Q：ジェネリック医薬品（後発）とは？

A： 後発医薬品とも呼ばれ、新薬の特許が終了したあとに発売される医薬品です。新薬と同等の有効成分ですが、開発費が抑えられるため、新薬に比べて2～8割ほど安い価格で購入することができます。

また、厚生労働省が厳しく審査・承認した薬だけが「ジェネリック医薬品」として販売されるため、安心です。

ジェネリック医薬品に切り替えると、短期間しか服用しない医薬品ではさほど変わりませんが、高血圧症や糖尿病といった慢性的な病気で、長期にわたり薬を服用する場合は、薬代を大きく減らすことができます。

右に“一般的な比較例”を掲載しています。ご参照ください。



Q：「ジェネリック医薬品」を処方してもらうには？

A： ジェネリック医薬品に切替えるには、まずは医師・薬剤師にご相談ください。

「ジェネリックお願いカード」を提示すれば、ジェネリック医薬品を処方してほしいという意思を簡単に伝えることができます。

「ジェネリックお願いカード」は右に添付しています。切り取りのうえご使用ください。

※ 医師・薬剤師の判断により切替えができない場合があります。

(裏面もご覧ください⇒)



当健康保険組合のジェネリック医薬品の利用等状況

当健康保険組合のジェネリック医薬品の利用等状況を分析しました。

ジェネリック医薬品使用割合等の経年比較。

平成 29 年 9～10 月診療分を「前年同期」と比較してみました。

診療月	先発医薬品使用量 (額)				後発 (ジェネリック) 医薬品使用量 (額)				削減額 (円)
	数量 (件)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)	数量 (件)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)	
28 年 9～10 月	154,619	37.2	6,241,670	54.9	260,473	62.8	5,118,350	45.1	4,726,260
29 年 9～10 月	148,352	34.6	6,583,190	53.1	280,869	65.4	5,825,480	46.9	5,431,590

※ 先発医薬品欄 = 切替対象の後発医薬品 (ジェネリック医薬品) があるが、先発医薬品が使用されているもの。

※ 後発医薬品欄 = 後発医薬品 (ジェネリック医薬品) が利用されているもの。

使用率 (削減額) の伸びは順調! 目標値達成に向けご検討を!!

- 後発医薬品数量割合は、平成 29 年 9 月～10 月診療分で「約 65.4%」また、医療費削減額は、2ヶ月分で「5,431,590 円」となっています。
皆様方のご協力により順調に削減額等を伸ばしています。ありがとうございます。
- しかし、厚生労働省より「平成 32 年度末までに 80%」という非常に高い目標値も示されています。
さらなる削減に向け、本通知を参考に是非、ご検討ください。

ご家族の使用率が低調!

- 本人の使用割合に比べ家族の使用割合が約 9.8% 低く推移しています (この間、同傾向が続いています)。 ※ 上記診療期間の実績では、本人=69.9%で、家族=60.1%でした。

「お財布にも優しいジェネリック」、是非、切り替えについてご検討ください。

情報・検索サイトのご案内 ⇒

- ジェネリック医薬品に関するご説明をお願いします。
- ジェネリック医薬品の処方が可能であれば、お願いします。

氏名

尼崎機械金属健康保険組合

下記のサイトでは、現在の処方薬に替わるジェネリック医薬品の検索や、処方に積極的な医療機関・薬局の情報を提供しています。

また、医師や薬剤師にジェネリック医薬品の希望を伝えるときに便利な「ジェネリック医薬品お願いカード」のダウンロードも可能です。

- **かんじゃさんの薬箱** (<http://www.generic.gr.jp/>)
日本ジェネリック医薬品学会が運営する情報・検索サイトです